



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第83号  
令和元年10月16日

# 河津町議会だより



定例会議案説明 ..... 2～3  
 決算審査特別委員会 ..... 4～5  
 町長の行政報告 ..... 6  
 一般質問 ..... 7～12  
 一部事務組合報告・私も一言 ..... 14～15  
 議会の動き・編集後記 ..... 16



QRコード

# 第3回定例会議案(要旨)

## 議案の説明(抜粋)

9月3日から17日まで、第3回定例会が開かれた。議案は、報告2件、条例5件、補正予算5件、決算認定8件、発議1件である。一般質問は6名。17日、定例会最終日の本会議で決算審査

特別委員会の報告が上村和正委員長よりなされた。付託された議案第43号から第50号までの8議案は、審査の結果認定すべきと決定し、本会議において全て認定された。

## 平成30年度 河津町一般会計・特別会計決算概要

(単位：円)

会計名	区分	予算額	決算額	予算額と決算額との比較
一般会計	歳入	4,021,171,000	3,889,537,609	△ 131,633,391
	歳出	4,021,171,000	3,704,980,625	316,190,375
	差引		184,556,984	—
河津駅前広場整備事業特別会計	歳入	4,501,000	4,218,730	△ 282,270
	歳出	4,501,000	4,011,566	489,434
	差引		207,164	—
河津町土地取得特別会計	歳入	896,000	908,359	12,359
	歳出	896,000	549,017	346,983
	差引		359,342	—
河津町国民健康保険特別会計	歳入	1,258,294,000	1,250,151,726	△ 8,142,274
	歳出	1,258,294,000	1,199,666,579	58,627,421
	差引		50,485,147	—
河津町介護保険特別会計	歳入	995,095,000	1,005,512,766	10,417,766
	歳出	995,095,000	942,685,796	52,409,204
	差引		62,826,970	—
河津町後期高齢者医療特別会計	歳入	115,132,000	110,855,765	△ 4,276,235
	歳出	115,132,000	110,496,865	4,635,135
	差引		358,900	—
合計	歳入	6,395,089,000	6,261,184,955	△ 133,904,045
	歳出	6,395,089,000	5,962,390,448	432,698,552
	差引		298,794,507	—

## 平成30年度 公営企業会計決算概要

(単位：円)

会計名	区分	予算額	決算額	予算額と決算額との比較
水道	歳入	200,674,000(収益的収入) 48,286,000(資本的収入)	185,821,894(収益的収入) 37,042,000(資本的収入)	△14,852,106(収益的収入) △11,244,000(資本的収入)
	歳出	192,477,000(収益的支出) 103,734,000(資本的支出)	185,744,328(収益的支出) 85,164,128(資本的支出)	6,732,672(収益的支出) 18,569,872(資本的支出)
温泉	歳入	109,003,000(収益的収入) 972,000(資本的収入)	111,434,000(収益的収入) 712,800(資本的収入)	2,431,000(収益的収入) △259,200(資本的収入)
	歳出	103,629,000(収益的支出) 2,840,000(資本的支出)	89,154,255(収益的支出) 2,387,511(資本的支出)	14,474,745(収益的支出) 452,489(資本的支出)

●河津町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 (全員賛成)

●幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

他、3条例についても、全員賛成で認定された。

●令和元年度河津町一般会計補正予算(第2号)

河津中学校太陽光パネル等設置工事、コミュニティセンター耐震対策実施設計業務委託料、焼却灰等処理委託料等。1億2973万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を39億566万6千円とする議案について討論があった。

### 討論

コミュニティセンター耐震対策実施設計業務委託料1073万6千円について

※討論については、口述通り記載する。

### 賛成討論

塩田正治議員

この商工会館の耐震補強問題は、河津町保有のコミュニティセンターが商工会館の3階部分に併設されていることが起因していると考えられる。商工会館建設当時の建設に至るまでのプロセスは、昨日町長が詳しく説明をされましたので省略するが、コミセンが3階にある事実は、動かす事が出来ない。そしてコミセンは現在も多くの町民の皆さまに利用いただいている河津町において必要不可欠な施設であると考える。そのコミセンを今後にも利用するためには、3階部分を支えている1、2階部分を耐震補強しなければ継続利用出来ない

### 反対討論

渡邊弘議員

本予算のコミュニティセンター耐震の補正予算について設計に対して反対したい。理由としては、税金の投入になるわけだがその理由が、実際問題として町の施設で無いものに、商工会の会館のほうに多額の税金の投入は見合わないかなと云うふう

2階部分を耐震補強しなければ継続利用出来ない」と診断されてしまった以上、補強をするか建て替える以外に選択肢が無いとなれば、河津町の経済状況がとりわけ良いわけ

でもない現状を考えた時に、耐震補強以外には考えられない。

また、商工会は河津町の重要な産業経済団体として、公共の利益を優先させて活動している公共的団体といえる。もし当局が商工会を単純に民間の一企業に過ぎないので全て自前で対応しないのでという様な事になれば、商工会の現状の財務内容では、会員や町民の皆さまに安全に利用していただくような補強はできない。少なくともコミセンを継続利用できるだけの耐震補強は出来ないと考えられる。商工会がまともな事態を招いてしまうようなことになれば、それこそ町民の皆さまの利益を損ねてしまうことにならない。

採決結果は次の通り

【反対】

渡邊 弘・稲葉 静

【賛成】

大川 良樹・桑原 猛

渡邊 昌昭・遠藤 嘉規

上村 和正・塩田 正治

仲 里司・宮崎 啓次

賛成者多数により可決した。

※議長は裁決に参加せず。

●令和元年度河津町駅前広場整備事業特別会計補正予算(第1号)

伊豆急行河津駅トイレ改修費補助金340万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ778万6千円とする。(全員賛成)

●令和元年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

償還金及び還付加算金等325万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ11億7432万7千円とする。(全員賛成)

●令和元年度河津町介護保険特別会計補正予算

(第2号)

償還金及び還付加算金等2823万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ10億9574万6千円とする。(全員賛成)

●令和元年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者医療広域連合納付金34万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ1億1264万7千円とする。(全員賛成)

●議員発議

地震財特法の延長に関する意見書の提出について

地震防災対策強化地域である本町は、地震対策緊急整備事業計画に基づき、地震対策を鋭意講じているが、この計画は令和元年度末で期限切れを迎える。よって地震財特法を延長するように強く要望する。(全員賛成)

# ～決算審査294問～

平成30年度の各種決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審議した。(9/5～13日)294問の活発な質疑が行われた後に、4点の付帯意見が提出され原案可決された。質問の一部を抜粋する。

委員長 上村和正 副委員長 遠藤嘉規  
委員 大川良樹、桑原 猛、渡邊昌昭、塩田正治、仲 里司、土屋 貴  
渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

## 総務課

**質問** 財政調整基金の積立金額が少ないと感じるが、現在の調整基金は。

**課長** 7億1千万円。

**質問** 町が考える財政の適正規模は。

**課長** 突発的な事態に対応するために財政調整基金の基金残高を10～15億確保することを目標としてきた。3年前までは13億程度であったが、目的を変えたという事で財政調整基金から特定目的基金に移した。



同報無線統制台

**質問** 防災士育成費補助金は防災士の新規希望者が0人ということか。

**課長** 平成30年度については0人だった。令和元年度については希望者が1名いる。防災士がない地区もある。行政連絡委員会でも地元地区への防災士の設置をお願いしている。

## 企画調整課

**質問** 町バスの関係で、一日当たり5便、2.5人の利用状況で、半分は空車で走っているような状況。今後の対策をどの様に考えているのか。

**課長** 議会の第1常任委員会と情報交換をさせてもらう。町の持っている情報と、議会の視察研修等、それらの情報交換を実施し考えのすり合わせをして行く。県や民間事業者との情報交換も予定している。特に利用者側の意見の把握が大事と思われる。

## 町民生活課

**質問** 合併処理浄化槽で、国の9割補助が今年度で終わる。今後の計画と河津町の普及率は。

**課長** 補助制度は、循環型社会形成推進地域計画というもので今年度まで。その計画の次期計画を策定すれば補助制度は残り、現在次期計画を策定中。補助制度は残す方向。普及率については、37.8%で県内35市町中33位。

## 教育委員会

**質問** 小中学校における各学校の環境に応じた津波を含む防災教育(避難訓練)を授業として実施しているのか。

**事務局長** 基本的には地震と津波の関係を中心に行っている。南小においても通学時、帰宅時の地震の対応は学校を離れてしまおうと違う対応となる。訓練という形では行わず、



タブレットを使った授業風景(東小学校)

各家庭で避難先等を決め対応している。  
**質問** 学習支援員数が各学校において、バラツキがあるが配置のルールはあるのか。  
**事務局長** 学校からの要望により状況確認し配置している。

## 建設課

**質問** 地区要望に対し現物支給で応えているが、小地区では高齢化が進み、現物支給では対応できないという声も聞こえてきている。今後はそういう状況にどういう対応をするのか。

**課長** 道路だと1・2類線は町、3類線は地元管理となっている為、現物支給、重機借上で出来るだけやれる範囲はやってもらいたい。

**質問** 駅前を観光地的なイメージになるようにするためにも、基金を積立てては。

**課長** 基金の残高は30年度末に2090万円弱、この9月の補正予算で伊豆急への補助金で340万円ほど基金を取崩す予定で、残高が1700万円程度になり、新たに造るとなるとある程度出来ないと感じる。

## 産業振興課



(被災後の菖蒲沢防波堤)

利用者の減少、施設の老朽化、維持管理などの方策は。

**課長** 今年度、温泉会館運営委員会を開催し、委員に現状を説明、今後どの様にしていくかを諮らうと思っている。

**質問** プレミアム商品券を、今年度やめた理由は。

**課長** 実施主体は商工会で、補助という形で行っている。大型店で4～5割が使われてしまつて小売業者に回ってこないということがあるのでないか、町サイドから止められるには言っていない。

## 水道温泉課

**質問** 動力費で大堰浄水場のポンプを3基替えたが、効果は出ているか。

**課長** 動力的には減っている。しかし電気料が上がっているため、全体的には10%ほど上がっている。

**質問** 給水単価は今後上がっていくのか。

## 健康福祉課

**質問** 特定健診の関係で、受診率は人間ドックも含め、昨年度が35.6%、受診者677人という事だが、他市町と比較状況は。

**課長** 賀茂地域は、県の平均からも全体的に低い。

## 意見書

1. 頻発する各種自然災害に対応すべく、あらゆる機会を通じ地域特性に合った防災教育の強化に努められたい。
2. 人口減少が加速的に進展する中で、空き家バンクの有効活用を図り、温泉の町としてのPRも含めて、移住政策の強化を図られたい。
3. 町内景気が低迷している中、経済活性化を図るべく、内需拡大のための産業振興策を検討されたい。
4. 河津川等水環境の保全をする観点から、合併処理浄化槽の更なる推進策を講じられたい。

# 町政を問う

# 一般質問



わたなべ 弘 議員



商工会館



いじま ひろあき 町長

## 令和元年第3回 定例会行政報告

### 平成30年度決算

平成30年度一般会計決算は、歳入総額38億8953万7609円、歳出総額は37億498万625円となった。

### 自主防災組織家具転倒防止器具等設置推進事業費補助金

地震時における人的被害軽減を図るため、家具転倒防止器具の設置費用等の助成事業を本年4月から行っている。

### 総合防災訓練

9月1日に町内全域で総合防災訓練を行い、2547名の参加があった。

**伊豆縦貫自動車道IC周辺地域振興計画策定業務**  
IC周辺地域振興計画策定業務について引き続き(株)地域まちづくり研究所と契約した。

**河津バガテル公園事業再生事業**  
民間活力の導入による再生を目指し公募を行ったが、提出期限までに応募がなかった。河津バガテル公園事業再生検討委員会等で検討し事前説明会参加団体との合同情報交換会をする。

**河津桜切枝販売社会実験**  
今年度は試験出荷に加えて出荷規格に満たない枝をカップ切り枝として商品化が可能か河津桜まつり期間中に社会実験として検証に取り組む。

**子育て支援等に向けた関連施設整備事業**  
施設整備に向けて、基本設計業務委託、地質調査業務委託を契約した。

**コミュニティセンター耐震対策事業**  
利用者の安全確保と地域住民や河津駅周辺の観光・買い物客を対象とした緊急避難場所としての機能を確保する。商工会と協定を締結して耐震補強工事を実施する。

**河津中学校太陽光パネル等設置事業**  
武道場屋根に太陽光パネルを設置し、外部電力停止時に体育館や校舎主要部で使用できる蓄電設備を整備する。

**動物愛護事業**  
猫の不妊去勢手術費補助事業に8月末までに35件の申請があった。

**国民健康保険特定健康診査受診勧奨等業務委託事業**  
受診率向上のため国からの補助を活用し、健康

**夏の水浴**  
7月の天候不順、8月の台風により今井浜海水浴場の入り込みは、前年比30%の減、河津浜海水浴場は、前年比40%の減となった。

**夏の水浴**  
7月の天候不順、8月の台風により今井浜海水浴場の入り込みは、前年比30%の減、河津浜海水浴場は、前年比40%の減となった。

**道路・橋梁事業**  
河津町橋梁長寿命化修繕計画に基づき調査設計を実施する。道路事業は経年劣化した舗装の補修、側溝の補修を行っている。

**認知症カフェ(わさびの花)**  
認知症の方と家族、地域住民、専門職等が交流できる場を作った。

**観光施設情報発信システム移設業務**  
ライブカメラ設置場所を浜の温泉配当所の上部に移し、併せて機材の更新を行う。

**社会教育事業**  
文化財保護審査委員会による町内寺院にある仏像の状況について確認作業を行っている。

**伊豆縦貫自動車道関係**  
工事発生土の有効活用による防災拠点施設整備に向けて受け入れ候補地の造成を進めていきたい。

**学校教育関連事業**  
河津町学校教育環境整備委員会の答申内容から、河津町立小学校統合準備委員会を立ち上げ、小学校統合に向けた協議を開始した。

## 質問 バガテル公園指定管理応募なし 今後の方向性は

### 答え 検討委員会より条件交渉を個別にコンサル会社に依頼

質問：どのような民間資本の導入を考えていたか。パリの基本協定にこだわっているのか。

町長：相手側の資産となるものは、認められない。大きい修繕は町がやる。バラ園は、検討委員会より4万人の集客があり、観光施設として必要であるとの意見があった。

企画調整課長：主な指定管理の条件では、年間1500万円5年間で7500万円の管理料とした。但し、減額の提案があれば評価させていただくこととした。

質問：公募が不調に終わる今後の方向性は。検討委員会からの施策提案は。山田コンサルティング(株)

からの問題点の指摘と提案はあったのか。今後この会社と業務を継続していくのか。  
町長：検討委員会より条件交渉を個別にとの意見があった。コンサルタント会社を通じ個別交渉を継続する。コンサルタント会社への支出は問題ないと思っている。

## 質問 町の財産でない部分に税金投入は 商工会館は安全な場所か

### 答え 町が事業主体で 地域説明会などは考えていない

質問：町の財産でない部分に税金の投入をするのか。地域住民説明はしないのか。商工会館は津波に安全な場所か。

町長：商工会は公的経済団体として各種委員会などに参加している。建物の補修、その他事業にも補助金を出している。今回も従前の例に従い補助

金を資することとした。今回、防災関係の補助金とし、全体を町事業として予定している。地震土砂災害等に対する指定避難場所として補助金の活用を考えている。地域説明会は考えていない。イエローゾーンの指定だが新設でないので耐震化をし安全確保をして利用

することを目的とした。質問：町の財産外の建物に税金の投入は問題がある。また、商工会の総会で3000万円が決まり不足分は町でとの事業ではないか。  
町長：事業主体は町だが共同事業でやる。県補助金は町が申請する。

# 町政を問う

# 一般質問



しお だ まさ はる  
塩田正治 議員



デイサービス介護の様子

質問：現状の景気判断を各主要産業別にどのよう  
に捉えているか。行政サ  
イドの景気判断の手法だ  
けでなく、現場の声を聞  
き末端の声まで集約をし  
て、景気判断の材料とし  
ているか。

町長：全ての産業に対し  
較的に駅前を中心に商業

答え 観光を主体に外部からの収入に依存

施設が集約されており、  
また車や電車の便も良く、  
暮らしやすいと言われる。  
観光については河津桜  
まつりの経済波及効果が  
一番大きいですが、通年とし  
ての効果まではなかなか  
結びついていない。

質問 現在の景気状況をどう捉えているか

質問：団塊の世代が要介  
護認定を受ける中心世代  
になるであろう10年後、  
介護施設のベツトは足り  
るのか。  
町長：介護や支援が必要  
になったとしても、重症  
化を防ぎ、住み慣れた地  
域で安心して生活を維持  
できるよう、地域包括ケ  
ア体制の構築を重点的に

町長：新たな品目として  
河津桜切り枝の商品化に  
取り組んでいる。商工会  
で行っているワサビ関連  
の商品開発の支援を含め  
て新たな活用方法を進め  
たい。  
各種団体が集まるのが  
産業経済活性化連絡協議  
会であると思うので、そ

町長：互いに求めること  
が合致すれば、取り組ま  
ない理由はない。W I  
N・WINのものであれ  
ば取り組んでみたい。

答え 地域包括ケアの構築で居宅介護へ移行する

質問 将来介護施設のベツトは足りるのか

質問：団塊の世代が要介  
護認定を受ける中心世代  
になるであろう10年後、  
介護施設のベツトは足り  
るのか。  
町長：介護や支援が必要  
になったとしても、重症  
化を防ぎ、住み慣れた地  
域で安心して生活を維持  
できるよう、地域包括ケ  
ア体制の構築を重点的に

町長：新たな品目として  
河津桜切り枝の商品化に  
取り組んでいる。商工会  
で行っているワサビ関連  
の商品開発の支援を含め  
て新たな活用方法を進め  
たい。  
各種団体が集まるのが  
産業経済活性化連絡協議  
会であると思うので、そ

町長：互いに求めること  
が合致すれば、取り組ま  
ない理由はない。W I  
N・WINのものであれ  
ば取り組んでみたい。

# 町政を問う

# 一般質問



農業体験をする渋谷区民



わた なべ まさ あき  
渡邊昌昭 議員

質問 小学校の統合について

答え 河津町立小学校統合準備委員会で検討中

質問：河津町立小学校統  
合準備委員会に諮問した  
内容や期限はあるのか。  
町長：7月16日に第1回  
の会議が行われた。  
優先的諮問事項3点と  
後発的諮問事項の3点に  
分け、2つの段階的な諮  
問を行った。  
すでに2回の会議が行

町長：新たな品目として  
河津桜切り枝の商品化に  
取り組んでいる。商工会  
で行っているワサビ関連  
の商品開発の支援を含め  
て新たな活用方法を進め  
たい。  
各種団体が集まるのが  
産業経済活性化連絡協議  
会であると思うので、そ

町長：互いに求めること  
が合致すれば、取り組ま  
ない理由はない。W I  
N・WINのものであれ  
ば取り組んでみたい。

質問 観光と第一次産業の合流については

答え 産業経済活性化連絡協議会で研究していきたい

質問：観光客のニーズが  
多岐にわたってきており、  
ボランティア交流なども  
多くなってきているが、  
観光客を知る観光関係団  
体と第一次産業の各団  
体が意見交換をするワー  
クショップ的な自由な意見  
の話し合いの場を設定で  
きないか。

町長：新たな品目として  
河津桜切り枝の商品化に  
取り組んでいる。商工会  
で行っているワサビ関連  
の商品開発の支援を含め  
て新たな活用方法を進め  
たい。  
各種団体が集まるのが  
産業経済活性化連絡協議  
会であると思うので、そ

町長：互いに求めること  
が合致すれば、取り組ま  
ない理由はない。W I  
N・WINのものであれ  
ば取り組んでみたい。

# 町政を問う

# 一般質問



えん どう よし のり  
遠藤 嘉規 議員



消防無線が通じない、町から遠い等、運用上の問題が発生している

質問：自然災害の頻発により、住民の自主避難の重要性が増している。行政の指示で逃げるのではなく「避難スイッチ」と言う自分で避難のタイミングを決める取組みが目されているが町の対応は。

町長：行政が避難指示を出し従ってもらおう行政サービス型の対策から、行政が気象情報等の状況

を住民に伝え、最大限のサポートをする事で、自ら判断して避難をしてもらう行政サポート型に変わってきている。  
西日本豪雨の行動調査では、身の回りの変化により危険を感じ避難をした人が約34%、町の警報で避難した人は15%、自ら判断した方が多かったです。また、近所の声掛けで避難した例も9%あり。

他「SDGsに対する取り組み」1件

### 質問

自主避難の重要性が増している、町の対応は

### 答え

避難行動をするためのサポートをしていく

### 質問

ドクターヘリ臨時ヘリポート町中近くに検討を

### 答え

バガテル公園バス駐車場を使えるか検討する

質問：ドクターヘリや県の新防災ヘリが、救急搬送や災害発生時に利用する臨時ヘリポート。現状では町中から遠く、運用上の問題点が多く指摘されている。市街地近くに確保しないのか。  
健康福祉課長：平成29年9月から11カ月間かけて、町内ヘリポート候補地7

カ所程度を、町、下田地区消防組合、ヘリコプター運航会社と調査した。地形等の理由により赤川津山ヘリポートのみの運用となっている。  
町長：バガテル公園の繁忙期以外で、ドクターヘリ臨時ヘリポートとして使用できるか検討したい。今後の計画として、伊

豆縦貫道の発生土を活用した防災公園を検討している。実現できればヘリポート問題も解決し、災害時には避難所機能や救援物資の受け入れ基地、また役場のサテライト機能として関係機関との連携もとれやすくなる。平常時には施設を使い多方面の活用期待もできる。

# 町政を問う

# 一般質問



おお かわ よし き  
大川 良樹 議員



栖足寺を中心に頑張っている谷津寺町地区

### 質問

高校生の電車通学の補助制度の検討は

### 答え

関係市町の補助制度の詳細について、今後研究してみたい

質問：賀茂圏域高校の魅力づくりへの協力、どうしたら地元高校へ進学するのか。  
町長：特色ある学校づくりを目指し、地域に根差した高校として、地域との連携や新たな学科の新設なども踏まえ協議を進めたい。  
質問：高校のない当町か

らは電車を使わずして高校へはいけない。近隣の町でも通学補助制度をしている中、賀茂圏域の高校を存続させるためにも子育て支援の観点からも高校生の電車通学補助制度の検討は。  
町長：確かに通学費用がかかるのは認識している。町では、バス利用について

では半額の補助制度があり、電車については伊豆急の割引制度があるので、町は補助していない。近隣市町の補助制度はバス利用者や想像するが、関係市町の補助制度の詳細について、今後研究してみたい。

### 質問

観光地づくりを頑張っている地域の応援をできないか

### 答え

新たな取り組みに対する支援制度の活用を

質問：文化的名所旧跡の掘り起こし、観光整備はできないか。  
町長：情報発信と地域住民の理解を得られるものであれば充分な観光資源として将来的に生かせるものだと思う。  
質問：谷津寺町地区では栖足寺を中心に「この地域、この町をなんとかし

たい」と御住職の思いで始めた御朱印散歩等多くのイベントを実施、平成30年には、年間5万人の参拝客が来訪、町は観光地としてのインフラ整備、頑張っている地域の応援はできないのか。  
町長：栖足寺のナイトイベントにも参加し、周辺の雰囲気もだいぶ変わっ

てきている。今後の寺町周辺の活性化を考えると新たな観光地としての魅力づくりもできると思う。新たな取り組みに対する支援制度もあるので大いに活用をしていただきたい。  
他「空き家・廃屋対策」関連1件

# 議会だより第83号 読者アンケート

抽選で5名様に  
「河津踊り子温泉会館入浴券」  
プレゼント!!

お名前 \_\_\_\_\_  
 ご住所 \_\_\_\_\_  
 ご連絡先 \_\_\_\_\_

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。  
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

**締め切り 11月末日必着**

- FAX送付先：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2  
河津町役場 議会事務局  
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。  
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2～3 P 定例会議案説明     4～5 P 決算審査特別委員会  
 6 P 町長の行政報告     7～12P 一般質問  
 14～15P 一部事務組合報告、私も一言     16P 議会の動き・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足     2. まあまあ満足     3. もう少し     4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957

## FAX番号 0558-34-1405

## 町政を問う

## 一般質問



かさ上げ計画予定防潮堤



くわはら たけし 議員  
桑原 猛

### 質問 避難所生活の訓練について

答え 地域実情にあった独自性のある訓練に自主性を持って取り組むことが非常に重要

質問：毎年総合防災訓練では屋外の訓練が中心となっているが、災害時には避難所の生活を余儀なくされることが想像できる。避難所での生活を模擬体験できるような訓練を行えば必要品などの持参の判断や、豆知識などをレクチャーすることに より対応がスムーズにできるのではないかと。

町長：私も訓練のあり方が大変問われていると感じている。マンネリ化しないためにもいろいろな場合を想定した訓練は大事故かと思う。  
総務課長：さまざまな事態を想定して、地域全体で訓練をしていくことは非常に重要と考えている。地域実情にあった独自性

のある訓練に自主性を持って取り組むことが非常に重要と考えている。また、一昨年度だが、各地区自主防災会に対して自主防災組織活動マニュアルを配付している中で、本年度全戸配布した河津町防災ガイドブックとの併用により地域の防災活動に際し活用いただきたい。

### 質問 防潮堤のかさ上げについて

答え 早ければ令和3年度には調査の結果に基づき整備を実施する予定

質問：津波対策の進捗状況ですが、地震における津波対策として防潮堤のかさ上げというところで話が進捗状況や今後のスケジュールについてどうか。

町長：今後、各施設の所管ごとに施設整備計画が策定をされて、事業化に向けて対応をしていくことになっていく。  
産業振興課長：平成29年度見高浜区の総会において意見集約をしたところ、施設整備を行う方針で決定されているところである。これに伴い、今年度国による交付金を受ける

ため概算要請を5月に行った。その後、本要望は11月ごろ行う予定となっている。翌年度の令和2年度には、調査、測量業務等を実施する予定である。その後、早ければ令和3年度には調査の結果に基づき整備を実施していく予定である。

### 静岡県市町議会 議員研修会

静岡県市町議会議員研修会がグランシップ中ホール（静岡市）で開催された。講演は「これからのキャリア支援と女性活躍・働き方改革の時代に必要なもの」と題し、人材コンサルタント株式会社ベレフェクト代表取締役 太田彩子氏がおこなった。



具体的なキャリアデザイン構築をし、実社会において学び、自信を育

むことが大事であるとの講演であった。

### 一部事務組合

#### 伊豆斎場組合議会

8月28日に全員協議会が開かれ、伊豆斎場施設・設備の老朽化への対応について、協議が行われた。伊豆斎場建設については、建設から40年を経過し、令和6年度までに、斎場耐火レンガの全体積み替えが必要な状況から、今後コスト削減のため1〜3号炉の全交換、建物の改修など長寿命化事業を進めることが確認された。

同日に定例会が開かれた。平成30年度伊豆斎場組合の決算認定、令和元年度補正予算が審議され可決された。30年度決算については、歳入額4367万3316円、歳出額4141万9827円

で、差引残高225万3489円が翌年度に繰越となった。また人事案件として、監査委員に、比野下文男議員（南伊豆）が、副議長に宮崎啓次議員（河津）が選任された。

#### 東河環境センター議会

令和元年6月17日第1回東河環境センター議会臨時会が開かれた。

東伊豆町議会議員選挙にともない議員の改選が行われた事により、正副議長選挙が行われた。



議長には、塩田正治議員（河津）が、副議長には、内山慎一議員（東伊豆）が選任された。

また、令和元年度東河環境センター会計補正予算が上程され可決承認。内容として、廃棄物手数料等塵芥処理費などに歳入歳出それぞれ4505万9千円が追加された。

#### 下田地区消防組合議会

8月28日定例会が開かれた。承認案件1件と補正予算等6議案が審議され承認可決された。今定例会では改選により多くの議員が変わったため、議会開催に合わせて議員研修会が開催され、総務、警防、予防の各部署の説明などがなされた。

認第1号 平成30年度下田地区消防組合会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額12億4007万2523円、歳出決算額12億1462万854

4円、差引残高2544万3979円が繰越。

議第6号 下田地区消防組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について。

議第7号 監査委員の選任について。西伊豆町の加藤勇氏が選任承認された。

議第8号 下田消防署救急自動車購入契約の締結について。

議第9号 河津分署救急自動車購入契約の締結について。

議第10号 下田地区消防組合手数料条例の一部を改正する条例の制定について。

議第11号 令和元年度下田地区消防組合会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ1899万9千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ12億9162万6千円。事業報告 2月1日〜7月31日まで組合全体で、火災発生は12件。救助出

動件数は26件。救急出動は1737件、搬送人数は1631人、河津町では232人が搬送された。ドクターヘリの搬送要請147件、104人の傷病者が搬送された。また、増加する外国人観光客からの通報に対応するため、翻訳業務を多言語通訳センターに委託した。



### 下田メディカルセンター 議会

8月29日下田メディカルセンター議会全員協議

会が開かれ、正副議長及び監査委員の選任について協議した。

議長・沢登英信議員（下田）副議長・稲葉義仁議員（東伊豆）監査委員・堤 豊議員（西伊豆）が選任された。同日、定例会が開催され、平成30年度病院事業会計決算認定についてなどの議案を審議し、すべて可決承認された。

平成30年度病院事業会計では、病院事業収益3億9624万円、病院事業費用3億9478万円であった。

平成30年度介護老人保健施設地事業特別会計では、歳入3025万円、歳出2987万円であった。

平成30年度における診療実績は入院患者数30879人（前年度比3.3%減）、外来延患者数68194人（前年度比1.0%増）であった。救急車による搬送は12

91件に上り、圏域内の第2次救急医療機関搬送の約40%を受け入れている。

平成30年4月1日に回復期病床を減少して、外来化学療法室へ転換し、11月より本格的に稼働を開始した。

#### 8月定例会提出議案

認第1号 平成30年度一部事務組合下田メディカルセンター病院事業会計決算認定

認第2号 平成30年度一部事務組合下田メディカルセンター介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定

報第1号 平成30年度決算に基づく病院事業会計資金不足比率の報告について

議第9号 令和元年度一部事務組合下田メディカルセンター病院事業会計補正予算（第1号）議第10号 監査委員の選任について

### 私言

町文化財保護活動の今  
河津町文化財保護審議委員会会長

村松 成見

町内にある有形・無形の文化財保護に関して、本町においては、ただ手を広げて対象を調査していくこともできない。そこで、昨年より審議を重ね、委員の一人に仏像研究の第一人者である「上原美術館」の主任学芸員の田島整氏（町内在住）に就いて頂いているので、上原美術館の協力を得ながら仕事を進めることとした。

があり、数多く蔵している寺院、度重なる火災で消失している寺院等さまざまである。住持立ち合いの調査で、一カ寺一日充ててもかなりの日数が掛かる。しかし大事に祀られている座から降りし、塵をきれいに払い、あらゆる角度からの写真撮影がなされる。そうした中で、それぞれの仏様の制作年が田島学芸員から告げられ、新たな発見をした思いになる。調査は後日まとめられる。

町内寺院の「仏像悉皆調査」である。美術館からは「釋迦涅槃図」に詳しい桜井和香子学芸員も加わって頂き調査することとした。



学芸員による調査



土屋 貴 議長

### 議会の動き

#### ● 議長の活動

- 8月 賀茂郡町議会議長会議 (河津町)

- ・ 県市町議会議員研修会 (静岡市)

#### ● 町議会活動

- 6月 山口県上関町議会常任委員会の行政視察の対応

- ・ 水道ビジョン説明会

- 7月 令和元年河津町議会臨時会

- ・ 青少年非行防止街頭キャンペーン

- ・ 河津町自衛隊協力会理事會

#### ● 一部事務組合

- 8月 河津町子ども議会傍聴
- ・ 議会全員協議会
- ・ 議会運営委員会
- ・ 河津町表彰審査委員会
- ・ 例月出納検査結果報告 (6月・7月・8月)
- ・ 議会広報編集委員 (6月・7月・8月)

- ・ 河津町社会教育委員会
- ・ 河津町青少年問題協議会
- ・ 河津町学校給食運営審議会
- ・ 河津町民生委員推薦会

#### ● 一部事務組合

- 6月 東河環境センター議会臨時会 (塩田議員が組合議会議長に就任)

- 8月 下田斎場組合議会定例会 (宮崎議員が副議長に就任)

- ・ 下田地区消防組合議会定例会

- ・ 下田メデイカルセンター議会定例会

- ・ 下田メデイカルセンター議会定例会

#### ● 議長に要請の諸会合

- 6月 伊豆縦貫自動車道建設期成同盟会要望活動 (国土交通省本省)



- ・ 下田青年会議所創立50周年記念式典
- ・ 「東京河津桜会の集い」 (東京都)

- 7月 夏季対策連絡協議会
- ・ 夏の交通安全県民運動街頭広報 (湯ヶ野)

- ・ 夏季対策連絡協議会
- ・ 夏の交通安全県民運動街頭広報 (湯ヶ野)



- ・ 今井浜海水浴場安全祈願祭

- 8月 令和元年度伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会ほか合同促進大会 (東京都)

- ・ 河津町交通安全対策委員会

- ・ 河津町消防団第2分団

- ・ 静岡県消防協会消防操法査閲大会訓練激励

#### 9月

- ・ 河津町総合防災訓練

### 編集後記

9月に発生した台風15号により被害にあられた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。議会は皆様の近くにありたいと望み編集をしています。

多くの声を参考にできまますよう、ご意見をお寄せください。(渡邊昌昭)

#### 議会広報編集委員会

- 委員長 上村和正
- 副委員長 大川良樹
- 委員 桑原 猛
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規

定例会の日程は、河津町ホームページでも確認できます。議会だよりは、年4回(2月、4月、7月、10月)発行しております。次回は2月発行予定です。

河津町田中212-2  
gikai@town.kawazu.  
shizuoka.jp

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。